



思考力、判断力、表現力を高める

上毛新聞ワークシート（小学校高学年～高校生）

ドローンの操作技術を学ぶ



ぐんま安全教育センター

県内で自動車教習所を運営するぐんま安全教育センター（前橋市関根町、萩原敬吾社長）は18日、ドローン（小型無人機）の操作技術を教える「ドローンアカデミージャパンぐんま」を開校した。少子化や人口減少で教習所に通う生徒の減少が懸念される中、成長が見込める新分野に進出し事業を拡大する。

車免許取得減 備える

空撮や建設現場で使われているドローンは、物流や設備点検、災害対応など多方面での活用が期待される。一方、免許制度が未整備で墜落事故も発生していることから、自動車教習で培った安全教育のノウハウを生かす。同社によると、教習所がドローンスクールを開校するのは県内初。

講座は①人口密集地など飛行禁止区域での飛行許可申請に必要な訓練を目的とした「一般技能」②建設や農業の現場で使うことを目指す「特殊技能」③児童から大人までに対応した「入門体験」の各コースを用意した。初回は7月19日から3日間、計24時間の一般技能コースを行う。前橋自動車教習所（同市関根町）で航空法や気象、電波など、ドローンの飛行に必要な知識を習得する。同日、合意書を締結した萩原社長（中央）と佐々木社長（左）ら関係者、調印を記念してドローンが飛行した

空撮や建設現場で使われているドローンは、物流や設備点検、災害対応など多方面での活用が期待される。一方、免許制度が未整備で墜落事故も発生していることから、自動車教習で培った安全教育のノウハウを生かす。同社によると、教習所がドローンスクールを開校するのは県内初。

講座は①人口密集地など飛行禁止区域での飛行許可申請に必要な訓練を目的とした「一般技能」②建設や農業の現場で使うことを目指す「特殊技能」③児童から大人までに対応した「入門体験」の各コースを用意した。初回は7月19日から3日間、計24時間の一般技能コースを行う。前橋自動車教習所（同市関根町）で航空法や気象、電波など、ドローンの飛行に必要な知識を習得する。同日、合意書を締結した萩原社長（中央）と佐々木社長（左）ら関係者、調印を記念してドローンが飛行した

ドローン飛行教習

（2019年6月19日付 上毛新聞9面）

問1 ドローンの飛行には、どんな分野の知識が必要でしょうか？二つ教えてください。

1. _____
2. _____

問2 記事に出ている施設では、用途によって何種類のコースを設けていますか？

- ① 2 ② 3 ③ 5

答え：（ ）

問3 あなたは、ドローンをどんなことに使ったら便利だと思いますか？

年 組 名前：